

町会ニュース

第52号

11月20日

(発行)

箕土路町会



巨大地震に備えて

町内会防災・自助・共助・公助

十一月二十日(日)午前九時三十分から今年で第四回目となる防災訓練を実施しました。

「四国沖を震源とするM九の南海トラフ巨大地震が発生し、岸和田市全



域が震度六の大地震に襲われ、九十分後には沿岸部に最大四・四mの津波が到達する。」という想定で、町会長の避難要請の町内放送を受けて、町会員の老若男女の方々が避難場所に指定されている八木北小学校グラウン

ドへ集合しました。参加者は約二百名、岸和田消防署の協力を得て、また八木北小学校校長・教頭も参加されていたの訓練でした。

＜訓練内容は＞

- ① 避難訓練(防災資機材搬送訓練含む)
- ② 水消火器による消火訓練
- ③ 心肺蘇生法・AED講習
- ④ 三角巾講習
- ⑤ 応急担架による救護訓練



- ⑥ ロープワーク
- ⑦ 給食給水訓練

⑧ 防災講演

防災講演では、防災アドバイザーの木村郁夫氏をお迎えし、「大地震、大災害への備えと対策」と題し、南海トラフ地震に対する備え、巨大地震に対する備えについて、わかりやすく約四十分間ご説明いただきました。



からの散会となりました

早朝より協力いただいた各団体の方々に紙面を借りてお礼申し上げます。評議員さんをはじめ参加いただいた皆様、本当にご苦労様でした。
民生児童委員ご紹介



十二月一日より箕土

街角散歩

八木小学校は 浄福寺から

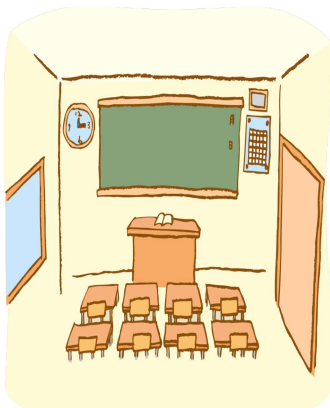
明治五年(一八七二年)五月、政府は国民皆学をすすめるため、「学制」を公布しました。その後の学校制度はおおむねこの学制にもとづくものです。明治六年(一八七三年)五月、堺県

(当時、箕土路は堺県に属していた。)は、学校建設と六歳以上の者の就学に関して布告しています。布告別紙には、その時点で堺県の小学は一一八校あり、泉州第二十番小学の所在地が箕土路村浄福寺と記され、この小学への通学区は、大町・荒木・下池田・西大路等合計十五の村とされています。

明治八年(一八七五年)五月に箕土路小学と改名され、明治十年(一八七七年)十月に東大路の高木小学(八木小学校の前身)に移転、統合されるま

で存続しました。

(岸和田市史第三巻より抜粋引用)



炊き出し訓練では、今回初めてカレーライスを調理していただき、舌鼓を打つての昼食を終えて

路町一丁目担当の民生委員児童委員が打越美枝子さんから京極典子さんにバトンタッチいたします。打越さんには2期6年のお仕事ご苦労さまでした。民生児童委員は岸和田市の依頼を受けて、地域住民の生活に密着した福祉を中心に相談・援助など多忙なお仕事を担当されますので、どうぞよろしく願っています。